

| | |
|--|---|
| <p>【技術の名称】 Trench-A工法 ーアングルをせん断伝達要素として用いる耐震補強工法ー (改定)</p> | <p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第11-04号 改 性能証明発効日：2013年3月29日</p> <p>【取得者】 株式会社間組</p> |
|--|---|

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造の既存骨組と鉄筋コンクリート増設壁（以下、RC増設壁）または枠付き鉄骨ブレース架構からなる増設部材との接合部のせん断伝達要素として山形鋼（アングル）を用いる耐震補強工法である。本工法では、既存の柱、梁のかぶりコンクリート部分に、コンクリートカタで溝を彫り込み、彫り込んだ溝にアングルを挿入してエポキシ樹脂接着剤で固定している。また、アングルの他端は、増設部材内に定着させている。このせん断伝達要素をアングルシアキーと呼んでいる。

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第11-04号（2011年6月1日）
 改定：GBRC 性能証明 第11-04号 改（今回）

- ・適用範囲の拡大
 RC増設壁形式における1辺のみ梁に接する開口を有する仕様の追加
 枠付き鉄骨ブレース補強形式における外側補強工法（直付け工法および増設スラブ工法）の追加
- ・技術名称サブタイトルの変更

【技術開発の趣旨】

鉄筋コンクリート壁または枠付き鉄骨ブレース架構を増設する従来の耐震補強工事では、多数本のあと施工アンカーの施工に伴う騒音、振動、塵埃など種々の問題が発生する。本工法は、これらの問題の解消または軽減を意図して開発されたものである。

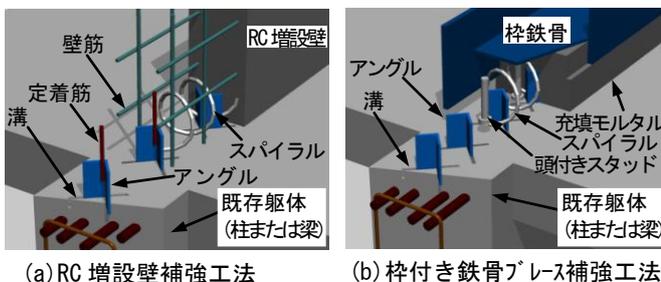
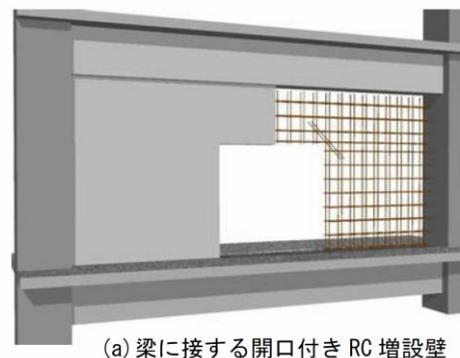


図1 接合部概要

【性能証明の内容】

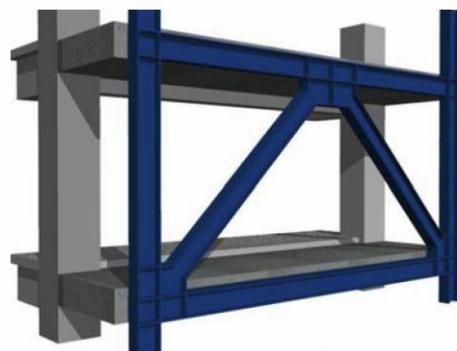
本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
 申込者が提案する「Trench-A工法 設計・施工指針」に従って設計・施工した増設部材と既存骨組からなる耐震補強架構は、同指針で定める終局耐力および変形性能（耐震診断において用いる靱性指標F値）を有する。



(a) 梁に接する開口付き RC 増設壁



(b) 直付け工法



(c) 増設スラブ工法

図2 改定内容

【本技術の問合せ先】

株式会社間組 技術・環境本部 技術研究所 担当者：松浦 恒久 E-mail：matsuura@hazama.co.jp

〒305-0822 茨城県つくば市莉間 515-1

TEL：029-858-8812 FAX：029-858-8819